

マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

第62号(平成22年9月)



つければ 浮くぞう
ライフジャケット

ライフジャケット着用推進会議

平成22年8月
プレジャーボート等
海難発生隻数

合計	22隻
衝突	2
乗揚	5
転覆	0
浸水	0
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	8
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	3
安全阻害	0
その他	4

事故事例と教訓

《事例1》8月21日1700頃、プレジャーボートB号にAさん等2人が乗込み萩市所在のマリーナを出港、萩市の沖合海上に錨泊して遊泳した後帰港しようとしたが、バッテリーの過放電のため機関が起動できませんでした。Aさんは友人に連絡してB号を錨泊させたまま友人のボートで一旦帰港しました。翌22日0600頃、新しいバッテリーをもって現場海域に戻ったところB号がいなくなっていたため118番に通報しました。海上保安部は巡視船艇を出動させ捜索を行うと共に漁業無線局を通じて出漁漁船に情報提供を行いました。22日1054頃、操業中の漁船が錨泊位置から約15キロメートル離れた海域において無人で漂流中のB号を発見しました。発見された時、錨は宙づり状態で、適切な長さのアンカーロープを出していなかったために錨が効かず漂流したものと思われる。

【事故の教訓】錨泊する時は、錨泊地点の水深、底質及び潮汐等を十分把握してアンカーロープは適切な長さにしましょう。また、衝突防止のために適切な灯火を点けましょう。

《事例2》8月14日2200頃、プレジャーヨットK号にBさん1人が乗込み大分港を出港しました。15日0230頃、目的の日出港沖合に到着しましたが、深夜で付近が暗かったため港口が確認できず錨泊したところ、潮が引いて乗り揚げてしまい118番により救助を求めました。

【事故の教訓】事前に目的港や目的港に至る航路筋の状況等を調査して十分把握し、適切な航海計画を立てましょう。

釣り愛好者安全指導期間：10月1日～11日

- * ライフジャケットの常時着用
- * 相互の安全確認（単独での釣行はやめましょう。）

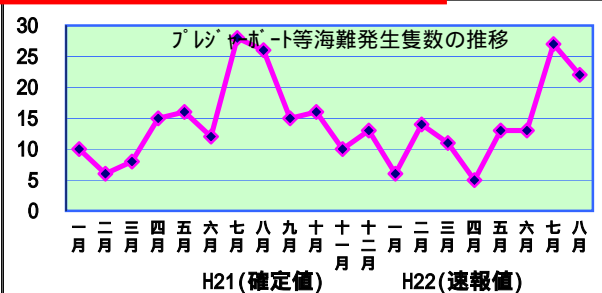
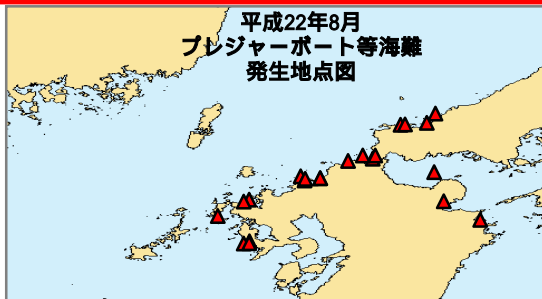


マリンレジャーに伴う
海浜事故者数

合計	12人(7人)
遊泳中	8(4)
釣り中	4(3)
サーフィン中	0(0)
ダイビング中	0(0)
その他	0(0)

()内は死亡

・行方不明者数



～ 漁船海難防止強化運動を実施します～
プレジャーボートの海難減少にもご協力を！

漁船海難防止強化運動の重点事項は・・・

・見張り不十分による衝突、乗揚げ海難の減少

過去5年間の全海難船舶のうち、漁船海難は全体の34%を占め最多となっております。中でも漁船衝突海難の原因は見張り不十分によるものが80%を、漁船乗揚げ海難の原因は居眠り運航によるものが35%を占め、人的要因によるものが多数を占めております。

これらの状況を踏まえ、漁船海難の減少を図るために10月1日(金)から14日(木)までの間、「漁船海難防止強化運動」を実施します。

一方、昨年発生したプレジャーボートの海難発生数は163隻で、漁船海難158隻を上回っております。過去5年間でプレジャーボートの海難発生数が漁船海難発生数を上回ったのは初めてであり憂慮されます。

プレジャーボートの海難を減少させることも重要な課題であり、特に燃料欠乏やバッテリー上がりなどの軽微な海難がなくなるように、皆さんも発航前の点検を行うなどして、海難防止に努めてください。

マリンレジャーを楽しむ皆さん！衝突・乗揚げ海難を防止するために、航海中はもちろん、投錨しての遊漁中も、常時適切な見張りをお願いします。

～ しっかり見張って早めの衝突、乗揚げ回避 ～

7・8月のマリンレジャーに伴う事故の発生状況

七管本部管内（速報値）

第七管区海上保安本部管内において、7月1日から8月31日の間に発生したマリンレジャーに伴う船舶海難及び人身事故の発生状況を取りまとめました。

1 プレジャーボート等の船舶事故

事故隻数50隻（昨年比4隻減）

（機関故障12隻、運航阻害10隻、乗揚10隻、衝突8隻、その他10隻）

【過去5年間におけるプレジャーボート等の推移】

	18年	19年	20年	21年	22年
事故隻数	41隻	45隻	61隻	54隻	50隻
死亡・行方不明	1人	1人	0人	0人	1人

※プレジャーボート等：モーターボート、ヨット、水上バイク及び遊漁船等をいいます。

2 マリンレジャー活動中の事故

事故者数25人（昨年比19人減）うち死亡・行方不明者12人（昨年比7人減）

（事故者：遊泳中15人、磯遊び中3人、釣り中5人、その他2人）

（死亡・行方不明者：遊泳中6人、磯遊び中2人、釣り中4人）

【過去5年間における死亡・行方不明者の推移】

	18年	19年	20年	21年	22年
事故者数	32人	44人	29人	44人	25人
死亡・行方不明	11人	15人	11人	19人	12人

※マリンレジャー活動：遊泳、釣り、磯遊び、スキューバーダイビング及びサーフィン等をいいます。

